

佳作

【工法の種類】透光型耐力壁 パンチくん

ステンブレースコボット 部分開口構造用合板 真壁上下あき

【応募者名】株式会社 U 建築

耐震改修のきっかけは、所有者の母親が高齢になり、今後介護が必要になる事を踏まえて介護に不向きな和室と浴室・トイレをリフォームし、その際耐震改修を一緒に行って安心して暮らせる家にしようという思いからでした。所有者との打合せで①1階西側の続きの和室をひとつの洋室とし、母親の居室とする。その際南側にサンルーム的なスペースを設けて、来客などに使用できるようにする。②母親の部屋からトイレに行く動線が不自由なため浴室とトイレの位置を入れ替え、さらに母親の居室から直接トイレに行けるようにする。③新しい浴室は高齢の方に安全なものにする。という内容をふまえ、補強設計を行いました。続きの和室は押入・新規収納部分を中心に補強しました。当初撤去予定の間仕切り壁は柱が多くの荷重を受けていたため、撤去を断念し、採光を確保出来るよう透光型耐力壁（パンチくん）で補強しています。所有者の生活スペースのリビングは短工期で補強出来るよう上下あき工法で補強し、普段使うことの少ない窓も採光だけは確保出来るよう、ここでも（パンチくん）を使用しました。当初から一番心配していたお神楽で増築した2階の外壁直下は基礎・土台を新設しステンブレースで補強することでしっかりと補強しました。また工事中、外壁からの雨漏りを発見し、防水塗装工事も入念に行い、概観も美しくなりました。1期工事・2期工事とに分けた通算1ヶ月以上の工事でしたが、母親の部屋は使い勝手も良く、明るくなり喜ばれました。

耐震診断値
改修前：0.19
改修後：1.00

工事費：236万円

工事期間：40日間



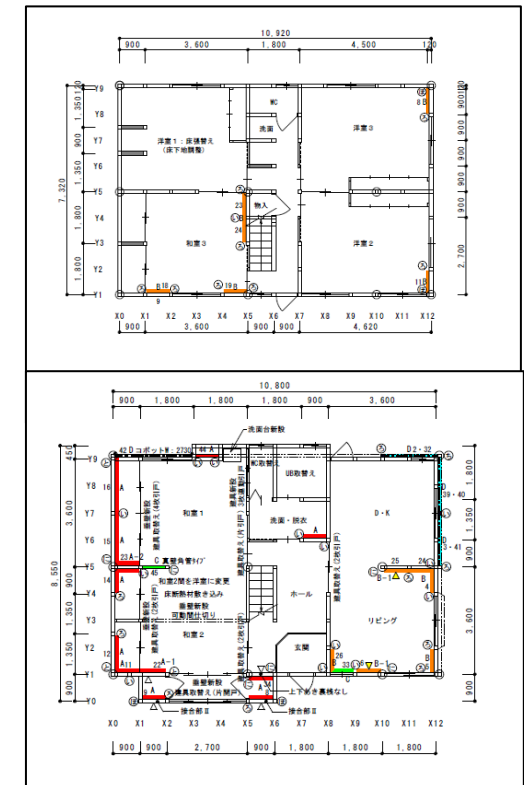
2部屋続きの和室を改装 補強壁【パンチくん】と可動間仕切りでサンルームとして使えるスペースの確保



窓からの採光はそのままに補強【パンチくん】大壁タイプ



ステンブレースコボット 耐力壁新設



【講評】

居住者の高齢化に対応した住宅の改修は、社会的に大きな要請となっている。本事例は、介護リフォームと耐震改修を同時に行ったものである。介護リフォームとして、続きの和室を一つの洋室とし浴室とトイレの位置の入れ替えなどの改修をしつつ、改修前評価点が0.19であったものを構造用合板や透光性耐力壁等によって必要な耐震性を確保している。複合的な目的に対応した改修を実施し、経済性にも優れていることを評価して、佳作とした。